

第7章 計画の推進に向けて

1 協働による計画の推進

地域福祉の主役は、地域で生活している市民一人ひとりです。自分たちの住む地域を支え合い、助け合いのできる理想の地域に近づけていくためには、市の取組に加え、市民との協働が不可欠となります。

また、地域の中には、それぞれの地域に応じた多様な福祉ニーズがあることが考えられます。それらに対応していくためには、その地域で活動するボランティア、NPO、社会福祉法人、社会福祉協議会などの取組も必要となることから、これらの地域資源も重要な地域福祉の担い手となります。

この計画の推進に当たっては、地域福祉を担う主体それぞれが、相互に連携を図り、役割を果たしながら計画を進めていくことが大切です。

(1) 市民の役割

市民は、暮らしや健康を気かけるとともに、地域に住む担い手の一人として、地域や福祉に対する関心を持つことが重要です。また、そのためには日頃から地域の人たちが、あいさつや声かけを通じて交流を深め、顔見知りの関係を築いていくことが大切です。

また、ボランティア等の社会貢献活動や、各種募金、市や福祉団体等への寄附など助け合いの活動に理解を示し、可能な範囲で協力することも大切です。

※ 募金は、日本赤十字募金、共同募金（赤い羽根）、歳末助け合い募金などがあります。

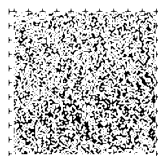
寄附は、市の井上欣一社会福祉事業基金や子ども・若者基金、社会福祉協議会などで受入れています。

(2) 地域活動団体の役割

自治会やボランティア団体、特定非営利活動法人、民生委員・児童委員など、地域活動団体は、地域の中にある生活課題を発見・共有するとともに、地域の中で連携しながら解決していくことが重要です。

(3) 福祉サービス事業者の役割

福祉サービス事業者は、サービスの質の確保、事業内容の情報公開や利用者の生活の質の向上に取り組むことが重要です。また、福祉施設などにおいては、利用者とボランティアなどが交流し合う場として期待され、地域福祉の拠点としても期待されます。



(4) 社会福祉法人の役割

社会福祉法人は、社会福祉事業の中心的な担い手であるだけでなく、営利企業など他の事業主体では対応が困難な福祉ニーズに対応する公益性の高い非営利法人です。児童、高齢者、生活困窮世帯等への生活支援や将来的に支援を必要とする可能性がある人に対する予防的な支援など、地域における公益的な取組の実践を通じて地域と連携することにより、地域社会に積極的に貢献していくことが期待されます。

(5) 社会福祉協議会の役割

社会福祉協議会は、自ら福祉サービスを提供するなどの活動に取り組んでいます。地域福祉推進の中心的な存在として、市民と地域活動団体、福祉サービス事業者、行政とのコーディネート役としての機能も求められます。

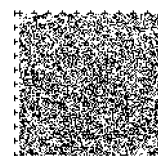
また、社会福祉協議会としての組織の機能強化を図るとともに、地域における多様な課題を把握し、その課題に対応した事業の展開を図ることが期待されます。

(6) 市の役割

市は、市民や地域活動団体などの自主的な活動を促し、地域コミュニティの醸成や市民活動支援などの総合的なコミュニティ施策の推進を図るとともに、地域福祉力の向上を目指し福祉施策の総合的な推進の役割を担っています。

また、本計画は地域という視点で様々な分野を横断的につなげる役割を担っており、包括的に地域福祉を推進するよう努めていきます。

このほか、地域における助け合いへの手法の一つとして、寄附文化の醸成を図って参ります。



2 計画の周知・普及

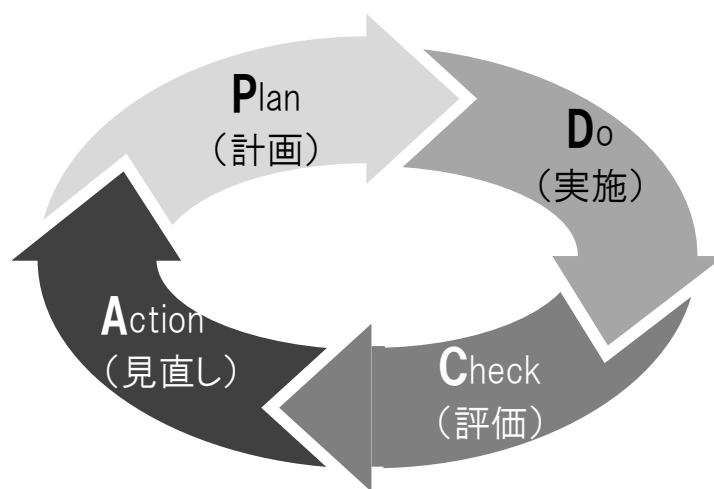
地域福祉を推進する上で、計画の目指す地域福祉の方向性や取組について、市民、ボランティア、NPO、社会福祉法人をはじめとする福祉サービス事業者、社会福祉協議会、市などの計画に関係する全ての人々が共通の理解を持つことが必要です。

そのため、「市報ちょうふ」や市のホームページなどを通じて、計画を広く市民に周知し、普及に努めます。

3 計画の進行管理・評価

本計画の推進のため、PDCAサイクル（P（計画）、D（実施）、C（評価）、A（見直し））の考え方にに基づき進行管理を実施し、計画全体の継続的な改善を図ります。

また、調布市地域福祉推進会議では、引き続き、計画の推進と進行管理など地域福祉の推進について必要な事項の検討を行って参ります。



福祉施策は、社会状況や福祉を取り巻く環境の変化などに応じて、適宜、改変していく必要があります。今後、新たな福祉圏域での取組やその圏域設定の検証を行う中で、必要に応じて、見直しを図ることも想定されます。そのためにも、将来的に予想される福祉課題への対応や、地域共生社会の実現に向けた取組等を行うため、次期福祉3計画の改定に併せて、圏域における福祉実践の取組や圏域設定のあり方について検証し、必要に応じて見直しを進めて参ります。

